



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2011年（平成23年）1月15日号 No. 1517

目次

| | |
|-------------------------------------|---------|
| ■ 変貌するロシアの対外経済地図 —2011年の年頭に当たって— | 遠藤 寿一 1 |
| ■ 統計速報 | 12 |
| 2010年1～11月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／12 | |
| 2010年1～11月の日ロ貿易／13 | |
| ■ キーパーソン | 14 |
| ウズベキスタンで人事交代／14 | |
| ルカシェンコ・ベラルーシ大統領再選、首相をすげ替え／15 | |
| ■ トピックス | 16 |
| 新潟・ロシア線の運航が再開／16 | |
| 太平洋パイプラインからの輸出は日本向けが首位／16 | |
| 日産のロシア工場でムラーノ生産／16 | |
| 日立建機、ウクライナで運行管理システム受注／16 | |
| 理想科学がカザフに販社／16 | |

変貌するロシアの対外経済地図 —2011年の年頭に当たって—

ロシアNIS経済研究所 所長
遠藤 寿一

はじめに

BRICsの中で、リーマンショックの影響が大きかったのはロシアで、回復も遅れていた。2010年11月12日東京で開催された「第4回日ロ投資フォーラム」で基調講演を行ったナビウリナ・ロシア経済発展相は、ロシア経済の現状を次のように述べている。「経済危機の影響はあったが、ロシア経済の現状はマクロ指標・財政指標ともに基本的には良好な数値を示している。ロシアの今後数年間の経済成長は年率約4%と予測している。またロシアは長期間にわたって国家債務を低水準に抑え、2010年は対GDP比約11%であり、財政赤字は2010年は5%強（12月29日クドリン副首相兼財務相が4.1～4.2%に修正）、2011年は3.6%